「さ」で始まる語彙辞典（メジャー）

小説・ラノベの文章表現を
豊かにしよう

はじめに

こちらの語彙辞典は、
小説投稿サイト『小説家になろう』で公開している
【小説・ラノベの書き方講座｜ビジネス思考の創作論】の中の
『小説・ラノベの文章表現を豊かにする 50 音別の語彙辞典』を
ＰＤＦレポート形式に整理したものです。

多くの語を記憶することで、
あなたの文章表現力は
今よりも豊かなものとなります。

『１日５語ずつ』などのように目標を決めて、
今の自分が知らない語を暗記していきましょう。

なお、こちらの語彙辞典は
ノマドクリエイターのショウヘイが
趣味の一環で制作したものです。

商用で販売するつもりは一切ないので、
あなたの友人・知人の作家仲間に
自由に配布してくださって構いません。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

目次

はじめに 2

「さ」で始まる語彙辞典（メジャー） 4

おわりに 14

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

「さ」で始まる語彙辞典（メジャー）

さいき - ばし・る【才気走る】
［動ラ五（四）］
いかにも才気にあふれたようすが見える。「控えめで―・ったところがない」

さい - けん【再見】
［名］（スル）
同じものをもう一度見ること。見直すこと。「日本文化を―する」

さい - こう【再考】
［名］（スル）
もう一度考えなおすこと。「―を促す」「原案を―する」

さい - こう【再構】
［名］（スル）
もう一度構成しなおすこと。組み立てなおすこと。「党の組織を―する」

さいさん - さいし【再三再四】
「再三」を強めていう語。繰り返し何度も。「―失敗してもこりない」

さい - しき【才識】
才知と識見。「―の豊かな人」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

さい - しゅつ【再出】
［名］（スル）
再び出すこと。また、再び出ること。「同じ言葉の―を避ける」

さい - しょう【細小】
［名・形動］
細かく小さいこと。また、そのさま。「―な結晶」

さいじ - じょう【催事場】
特別に計画して展示や特売などを行う場所。「デパートの―」

さいそく - がまし・い【催促がましい】
［形］［文］さいそくがま・し［シク］
いかにも催促するようである。「―・い話ですが」

細大(さいだい)漏らさず
一部始終。全部。「―報告する」

さい - だん【細断】
［名］（スル）
物を細かく断ち切ること。紙などを細かく切り刻むこと。「重要書類を―して廃棄する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

さい - だん【裁断】
［名］（スル）
① 物を断ち切ること。特に、型に合わせて布・紙・革などを切ること。「型紙に合わせて生地を―する」
② 物事の善悪・適否を判断して決めること。「―を下す」「―を仰ぐ」

さい - ねん【再燃】
［名］（スル）
① 消えた火が再び燃えだすこと。
② 衰えていた物事が勢いを盛り返すこと。「ブームが―する」
③ 解決したと思われていた物事が再び問題になること。「後継者争いが―する」
④ 治まっていた病状や症状が再び悪化すること。「局所―前立腺癌」

さい - ばし・る【才走る】
［動ラ五（四）］
才知が鋭く働く。才気にあふれる。また、利口すぎる。「―・った文章」「いかにも―・って生意気な若者」

さい - ひ【採否】
採用するかしないかということ。採用と不採用。「志願者の―を決定する」

財布（さいふ）の底をはた・く
持っている金を全部使ってしまう。「―・いて手に入れた絵」

財布（さいふ）の紐（ひも）が堅（かた）・い
簡単には金を使わない。むだづかいをしない。「庶民の―・くなる」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

財布（さいふ）の紐（ひも）が緩（ゆる）・む
必要以上に金を使う。むだ遣いをする。「甘い物の店の前ではつい―・む」

財布（さいふ）の紐（ひも）を握・る
金銭の出し入れの権限を握る。財布の尻を押さえる。「女房が―・っている」

さい - れつ【細裂】
［名］（スル）
紙や布などを細かくさくこと。また、細かくさけること。「―している葉」

さかり - ば【盛り場】
いつも人がたくさん集まっている場所。繁華街。「―をうろつく」

さき - こぼ・れる【咲き溢れる】
［動ラ下一］［文］さきこぼ・る［ラ下二］
花が枝や茎からこぼれるようにいっぱいに咲く。「―・れる萩の花」

さき - そ・める【咲（き）初める】
［動マ下一］［文］さきそ・む［マ下二］
花が咲きはじめる。「梅が―・める」

さき - だ・てる【先立てる】
［動タ下一］［文］さきだ・つ［タ下二］
先に行かせる。先頭に立てる。「旗手を―・てて行進する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

さき - ぶとり【先太り】
［名・形動］（スル）
① 先になるほどもとの方より太くなっていること。また、そのさまや、そのもの。「―な（の）指」⇔先細り。
② 物事が、先に行くほど盛んになること。また、財産などがだんだん殖えること。⇔先細り。

さく - てい【策定】
［名］（スル）
政策や計画をいろいろ考えて決めること。「都市計画を―する」

さく - ばく【索漠】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
心を満たすものがなく、もの寂しく感じるさま。荒涼として気のめいるさま。「冬枯れの―とした風景」「―たる思いにとらわれる」

策(さく)を講・ずる
うまく事を運ぶために、いろいろ考える。「万全の―・ずる」

策(さく)を施(ほどこ)・す
事を解決するための手段や対策を準備する。「組織再建のための―・す」

策(さく)を弄(ろう)・する
必要以上に策を用いる。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

差(さ)しつ押さえつ
他人の杯に酒をついだり、他人からの酌を押しとどめたりしながら、盛んに杯をやりとりするようす。差いつ押さえつ。

さしで‐ぐち【差（し）出口】
でしゃばってよけいな口出しをすること。また、その言葉。「―をたたく」

さ‐じ【些事】
取るに足らないつまらないこと。ささいなこと。小事。「―にこだわる」

札片(さつびら)を切・る
景気のよいところを人に見せつけるようにして、気前よく大金を使う。「成金が派手に―・る」

さと‐ごころ【里心】
他家や他郷に出ている者が、実家や郷里を恋しく思う心。「―がつく」

さとり‐すま・す【悟り澄ます】
［動サ五（四）］
すっかり悟る。悟ったふりをする。「―・した態度」

様(さま)に様(さま)を付(つ)・ける
敬ううえにも敬う。最大限の敬意を払うたとえ。「―・けてかしずく」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

さむけ - だ・つ【寒気立つ】
［動タ五（四）］
① 寒けを感じる。「冷気に触れて―・つ」
② 恐ろしさに身震いする。ぞっとする。「目をおおう惨状に―・った」

さむざむ - し・い【寒寒しい】
［形］［文］さむざむ・し［シク］
① いかにも寒そうである。「枯れ野の―・い眺め」
② 何もなくて殺風景である。「壁に絵の一つもない―・い部屋」

さわ - さわ【爽爽】
［副］《歴史的仮名遣いは「さわさわ」とも》
風が木立の葉をそよがせながら、さわやかに吹くさま。「秋風が―（と）吹く」

さん - い【賛意】
賛成の気持ち・意志。「―を表する」

さん - がい【惨害】
いたましい被害。むごたらしい災害。「台風は各地に―をもたらした」

さん - きょ【山居】
［名］（スル）
山中に住むこと。また、その住居。「―して自然を友とする」

さん - け【産気】
子供が生まれそうなようす。出産の気配。「―を催す」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

さん - けん【散見】
［名］（スル）
あちこちに見えること。ちらほら目につくこと。「雑誌等に―する新語」

さん - さく【散策】
［名］（スル）
これといった目的もなく、ぶらぶら歩くこと。散歩。「野山を―する」

さん - ざい【散在】
［名］（スル）
あちこちに散らばってあること。点在。「湖畔に―する別荘」

さん - ざい【散財】
［名］（スル）
不必要なことに金銭をつかうこと。また、いろいろなことで金銭を多く費やすこと。「訪問先に―をかける」「予定外に―してしまった」

さん - しつ【散失】
［名］（スル）
まとまっていたものが、ばらばらになってなくなること。散逸。「貴重な書類が―してしまった」

さん - しゅう【参集】
［名］（スル）
大ぜいの人が集まってくること。「全国から―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

さん - ぜつ【惨絶】
［名・形動］
悲惨極まりないこと。非常にいたましいこと。また、そのさま。「―な事故現場」

さん - ぜん【燦然】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
きらきらと光り輝くさま。また、はっきりしているさま。鮮やかなさま。「―と輝く星」「―たる宝冠」

さん - たん【惨憺】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
① いたましくて見るに忍びないさま。見るも無残なさま。「―たる事故現場」「結果は―たるものであった」
② 心をくだき思い悩むさま。「―たる推敲（すいこう）の跡」「苦心―」

さん - たん【賛嘆】
［名］（スル）
深く感心してほめること。「妙技に―する」「―措（お）く能（あた）わず」

さん - だつ【簒奪】
［名］（スル）
帝王の位、政治の実権などを奪い取ること。「王位を―する」

さん - ぱつ【散発】
［名］（スル）
① 弾丸などが間をおいて発射されること。「―する銃声」
② 物事が間をおいて起こること。「―五安打に抑えられる」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

さん - び【酸鼻】
［名・形動］
むごたらしくいたましいこと。また、そのさま。「―をきわめる」「―な事件」

さんぶん - てき【散文的】
［形動］
① 散文のような形式・趣であるさま。
② 詩情に乏しいさま。無趣味でおもしろみのないさま。「―な解釈」

さん - み【酸味】
すっぱい味。すい味。すみ。「―の強いコーヒー」

さんめん - ろっぴ【三面六臂】
① 仏像などが、一体で三つの顔と六つのひじを備えていること。
② 一人で数人分の働きをすること。「―の大活躍」

さん - れつ【惨烈】
［名・形動］
きわめてむごたらしいこと。きわめてきびしいこと。また、そのさま。「戦闘は―を極めた」「―な台風の爪痕」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おわりに

【あいさつ】

語彙辞典を読んでくださり、ありがとうございました。

当レポートを制作したショウヘイと申します。

私は旅する作家という生き方を理想としています。日本や世界の各地を渡り歩くことで、作家としての引き出し（人生経験）を増やし、より良質な物語を世に送り出し続ける……そんな自由な作家生活です。

また、個人で稼ぐ能力を身に付けることで、会社に時間と場所を縛られない人生の実現も目指します。個人で安定した収入を得られれば、出版社の編集者の言いなりにならずに、自分が心から好きな物語を創作できるようにもなるからです。

私が運営しているブログ【ノマドクリエイターの執務室】では、旅する作家になるために役立つ情報を発信しています。もちろん、小説家・ラノベ作家として活躍するために役立つ創作論も公開しています。

時間と場所に縛られない、新しい作家の生き方に興味がありましたら、ぜひブログを覗いてみてください。

↓　　↓　　↓

■ ブログ：ノマドクリエイターの執務室（https://ノマドクリエイター.net）

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.